



進路だより

第8号

2023年11月22日発行

宮城県東松島高等学校進路指導部

「冬が来る前に」

進路指導部長

先日まで、冷房を入れていたと思ったら、いつの間にか季節は秋も終わりに近づいています。新年、1月になると急に4月からの新しい年度に向けた動きがあわただしく始まります。高校生も上級学校や各企業の動きを敏感にとらえて、準備をしていかなければならない時期だということをぜひ覚えておいてください。これは、卒業年次だけでなく入学年次や中間年次の皆さんも、やらなければ出遅れたり、後悔したりすることにつながりますので、是非知っておいてください。

まず、卒業年次の皆さんです。就職の内定をいただいている人や上級学校の合格をいただいている人は、くれぐれも内定や合格の取り消しとなるようなことをしないでください。社会規範に反することを

しないというのは当然ですが、校内のことでも授業の欠課時数に気を付けることや、欠点を取らない、取ってしまったら必ず欠点指導を受けるということです。学校や就職先の中には卒業時点での成績証明書を求めるところもあります。もしも、卒業後に進学をしたいという場合には卒業時までの調査書や成績証明書が最終証明書となることを覚えておいてください。また、推薦入試やAO入試、総合型選抜で合格をした進学者は上級学校から新年度までの課題が出ているはずですので、これをやらないと入学後に出遅れることとなりますので高校にいる間に必ず取り組んでください。



中間年次や入学年次の皆さんも、直近までの成績を確認しておいてください。SAや進路指導部の先生と一緒に評定平均値や欠席日数の確認をしておくことをお勧めします。これをやった上で、後期第2回の考査までの目標を立てましょう。また、資格取得についても考えてみてください。就職の出願をするときには履歴書を作成します。「進路の手引き」にも履歴書作成例が載せていますが、資格の欄があります。この欄に何か資格が記入できるとそうでないのとでは、やはり大きな差があります。チャレンジできる資格についても相談をしてください。



皆さんは、「進路の手引き」をしっかりと読んでくれていますか。「進路の手引き」の中には、進学や就職をするために必要な情報がたくさん載っています。どうか、真剣に読んでみてください。

冬は1年間の終わりの季節ですが、同時に新しい年のスタートの季節でもあります。今、あなたがやっておいた方がいいことを探して取り組んでみてください。進路指導部が応援します。動き出しに早すぎるということはありませんよ。

〈私の進路の経験〉

数学担当

私の高校3年生の8月は、部活動の合宿が2回と県外遠征が3回あり、自宅で寝た回数よりもホテルに泊まった回数の方が多かったと記憶している。大学進学を目指す中で、クラスメイトが夏休みを利用して勉学に励む中、私は合宿と遠征の間に模試を解くだけの日々。当然、学力が伸びるはずなどなかった。学習の遅れは、私の中で焦りとなり、すぐにでも部活動は引退したかったが、結局10月の全国大会へ県代表として参加をすることになった。

引退後、各科目基礎基本を徹底的に身に付けることで、大学に合格することはできたが、自分の中に、「もっと勉強ができていれば他の大学へ行けていたかもしれない」という気持ちもある。しかし、部活動の経験が無駄だったとは思わない。目標に向かって取り組む力や、県代表として舞台に立つ責任感など、様々な資質が磨かれ、私が大きく成長できた期間となった。今となっては貴重な経験であったと感じる。

〈私の進路の経験〉

保健体育担当

私が進路活動を開始したのは、11月のこの時期でした。サッカーでの進学を目標に、部活動のことだけを考えて学校生活を送っていました。しかしサッカーでの進学の希望がなくなり、慌てて進路活動を開始しました。友人たちの進路が決定していく中で、進学か就職どちらにするのかも決めていない状態でした。

結果的に「運動が得意なこと」が決め手になり、体育大に進学し教員の道を歩み始めました。今ではこの進路にしたことには後悔はありませんが、当時は何も考えていない自分を恨む日々でした。

この経験から、進路に「幅」と「厚み」を持つこと、進路の動きが遅くなってしまった人は自分の「好き」を軸に考えることが大切だと考えています。普段の勉強や学校生活の取り組みは、将来の選択肢を広げる「幅」に繋がります。一方で進路活動に出遅れてしまった人は、自分の「好き」が活かせる職業や進学先、「好き」を続けやすい環境などを軸に考えてみてください。進路室や興味を持ってる分野の先生などにどんどん足を運んでみましょう。

〈進路室にある貸し出し用スーツ〉

進路室を使用したことのある生徒は、一度は目にしているのではないのでしょうか。進路室には、貸し出し用スーツを置いています。例えば企業説明会や職場見学に行くとき、証明写真を撮るとき、受験のときなど、スーツは在学中でも着る機会が何度かあります。進



路室にあるこれらのスーツ

は、すべて寄付で集まったもので、主に BonCafe などでお世話になっている「みんなのエプロン隊」のみなさんや、東松島市役所の有志のみなさんからいただいたものです。試験時のスーツの準備が難しい生徒は、進路室で借りることができます。

このように、見えないところでみなさんを応援してくれている人がたくさんいます。

